

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり  
会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第1回 高松市美術館協議会
開催日時	令和元年7月17日(水) 10時00分～11時30分
開催場所	高松市美術館 1階 講堂
議 題	(1) 会長及び副会長の互選について (2) 平成30年度事業報告について (3) 令和元年度事業計画について (4) 高松市美術館の開館時間の見直し(案)について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	毛利委員、笠井委員、井上委員、田野委員、古川委員、 吉田委員、中村委員、Page委員、有澤委員、三井委員、 富岡委員、鈴木委員、藤井委員
傍 聴 者	1人 (定員 5人)
担当課及び 連絡先	美術館美術課業務第二係 823-1711

### 会議の経過及び結果

**【開会】**

部 長     －あいさつ－

事務局    委員紹介

事務局職員紹介

委員出席者数による会議の成立を報告  
続いて会議の公開についての了承を求める

全委員    同意

**【議題(1) 会長及び副会長の互選】**

委 員     会長に毛利委員、副会長に古川委員を推薦

全委員    同意

会 長     －あいさつ－

**【議題(2) 平成30年度事業報告について】**

事務局    資料に沿って事業の実施内容等を説明

委 員     特別展の入場者数を増加できる企画内容の検討を提案

会議の経過及び結果

市民ギャラリーの利用減少理由について質問

事務局 特別展について、より魅力のある企画内容を検討と回答  
市民ギャラリーについて、民間施設等との価格差、利用期間の集中度のばらつきに、効果的な広報活動に努めると回答

委員 資料作成について、単年度分だけではなく、複数年間分をグラフィックにし変移が分かりやすくしてほしいと要望

事務局 次回の会議から作成と回答

会長 経年変化を見ることで、利用者数減少の分析資料となると意見

委員 「アートで遊ぼう！」の参加者人数が少ない理由について質問

事務局 PR不足と回答  
今年度は実施せず、内容を見直して、次年度以降に実施を検討と説明

委員 若手作家育成・地元作家支援の高松市美術館の姿勢を保ちつつ、高齢化社会を迎えるに当たり、お金をかけずに、例えばインターンシップなどを使ったりし、一般の人にも利用しやすいシステム作りや、若者や高齢者等から意見の聞き取りを要望  
市民ギャラリーは単なる貸しスペースだけでなく、企画にもコミットし、対話ができる場としてほしい旨の要望

事務局 若手作家・地元作家の発表の場としての機能と、来館者数だけでは測れないものの、より利用者数が見込める特別展の企画を実施し、利用しやすい美術館に努める旨を回答  
市民ギャラリーの利用者像を分析の上PR等に励む旨を回答

会長 美術館の使命について意見

委員 「中学生キュレーター」事業は優れており、次の世代の利用人数を増やすため、その実績を活かしてほしいと要望  
日経新聞全国版に、高松市美術館の現代美術コレクションへの高い評価が掲載されていることから、一層の貸出しを提案

事務局 今年度は「中学生キュレーター」予定なしと回答  
これまでの学校連携事業及び資料貸出し実績について説明

【議題（3）令和元年度事業計画について】

事務局 資料に沿って「令和元年度事業計画」を説明

委員 一般からの寄附を受付しているか質問

事務局 受付していないが、将来的な課題として検討する旨を説明  
助成金を活用している旨を説明

会議の経過及び結果

- 委員 「出前講座」について、今年度の実施について質問
- 事務局 引き続き実施する旨を説明
- 委員 高松市美術館の美術品の資産価値について質問
- 事務局 購入額は承知しているが、現在額は不明な旨を説明
- 委員 利用者数のうちの有料・無料等の内訳について質問  
同規模の他の美術館の運営について質問  
収支の費用対効果の分析について質問
- 事務局 今後、より見やすい資料を作成する旨を回答  
費用対効果に加えて、公立の美術館は社会教育施設でもあることから、多くの方に来館し、多様な美術世界を知ってもらうことが大事なので、利用者数増に努める旨を説明
- 会長 データをグラフ化等により推移を知ることで、問題点や改善点が見え、議論が活発になると意見
- 委員 美術館のあり方について、美術品の売買等、今までにない方向も検討する旨の提案
- 館長 日本の公立美術館は、作品の売買が難しい旨を説明  
昨年度、地域創造に貢献したことで総務大臣賞を受賞した旨を報告  
30周年事業から派生して、次の新しい楽しい企画へとつながっているため、必ずしも30周年が低調であったわけではない旨を説明
- 会長 数字や利用者数に囚われる向きがあるが、美術館の役割を今一度総合的に考える必要がある旨の意見
- 委員 エントランスホールで一般市民によるコンサート等開催は可能か質問
- 事務局 エントランスホールは貸館スペースではないため、一般の方に貸館していない旨を回答
- 会長 高松市美術館長からの答申である「平成30年度事業報告」及び「令和元年度事業計画」について、今回の会議での意見等を付して答申することに了承を求める
- 全委員 同意
- 【議題（4）高松市美術館の開館時間の見直し（案）について】
- 事務局 資料に沿って高松市美術館の開館時間の見直し（案）について説明

## 会議の経過及び結果

会 長 労働基準法の改正（働き方改革）が一つのきっかけではあるが、市民サービスの低下にならないように、効果的な部分を時間短縮していると意見

委 員 世代別・属性等のデータの有無について質問

事務局 受付等で各種データ及びアンケートを収集している旨を説明

委 員 入館者数について、17:00～19:00は5%、9:30～11:00の19%の年齢層のデータについて質問

事務局 夜間延長を全て止めるのではなく、金・土曜日は実施するので、仕事帰りの方や旅行者に対応している旨を説明

委 員 他公立美術館等を鑑み、属性の分析及び光熱水費・人件費の費用を考慮し検討が必要との意見

委 員 商店街は、開発により閉店時間が延長傾向にある。美術館と商店街は密接な関係があるが、商店街の午後7時は買い物といよりは帰り道となっており、午後5時閉館は商店街にとっては問題なく、現況維持の希望はない。  
インバウンドによる多数の外国人向けの外国語表記（サイン）はより必要との意見

事務局 外国人入館者数が1割と増加傾向にあるため、外国語表記（サイン）をさらに検討する旨の説明

委 員 ホテルに美術館の外国語表記パンフレットの設置があるか質問

事務局 設置している旨を回答

会 長 高松市美術館長からの答申である「高松市美術館の開館時間の見直し（案）について」、今回の会議での意見等を付して答申することに了承を求める

全委員 同意

### 【議題（5）その他】

委 員 高松市美術館の収蔵品についての意見

事務局 インターネットにより、高松市収蔵品情報システムで閲覧できるが、著作権の関係で画像公開できない作品がある旨を説明

事務局 開催中の特別展「宮永愛子：漕法」案内及び事務連絡

### 【閉会】

会 長 - 閉会 -